

概要版

第6次

福岡市 **子ども** 総合計画

すべての子どもが夢を描けるまちをめざして

お問い合わせ

福岡市こども未来局
こども政策部こども政策課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1

TEL:092-707-1019

FAX:092-733-5534

メール:kodomoseisaku.CB@city.fukuoka.lg.jp

Webサイト
「ふくおか子ども情報」



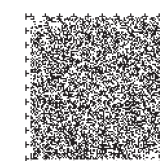
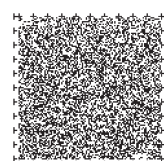
福岡市
LINE公式アカウント



発行／令和7年3月



福岡市



1 第6次福岡市子ども総合計画について

子ども総合計画とは

- 福岡市が子ども施策を総合的・計画的に推進していくための、基本的な計画です。
- この計画に基づき、それぞれのライフステージや状況に応じた切れ目のない支援に取り組んでいきます。

計画の期間

- 2025(令和7)年度から2029(令和11)年度までの5年間

計画の対象

- 子ども一人ひとりが未来を創るかけがえのない存在であり、すべての子どもが健やかに成長していくためには、行政による支援だけではなく、社会全体で子どもや子育て家庭を応援していく必要があります。
- このため、子どもや若者、子育て家庭に加えて、市民の皆さまや地域コミュニティ、事業者、NPOなど、すべての個人や団体を計画の対象としています。

コラム

計画ができるまで

様々な場や方法で、多くの人たちの意見を聴きながら、計画を策定しました。

1. 福岡市こども・子育て審議会

学識経験者や子ども関係の仕事にたずさわる人など、専門の知識や経験を持つ人たちで構成する審議会において、子どもや子育ての現状や課題、必要な取組みなどについて話し合いました。

2. アンケート調査

子ども、若者、保護者を対象に、日頃の気持ちや困っていること、子育て支援に関するニーズなどについてアンケート調査を行いました。

3. ワークショップ

子ども、若者、保護者を対象に、今の気持ちや意見を聴きながら、これからのまちづくりや子育て支援について考えるワークショップを実施しました。



ワークショップ当日の様子

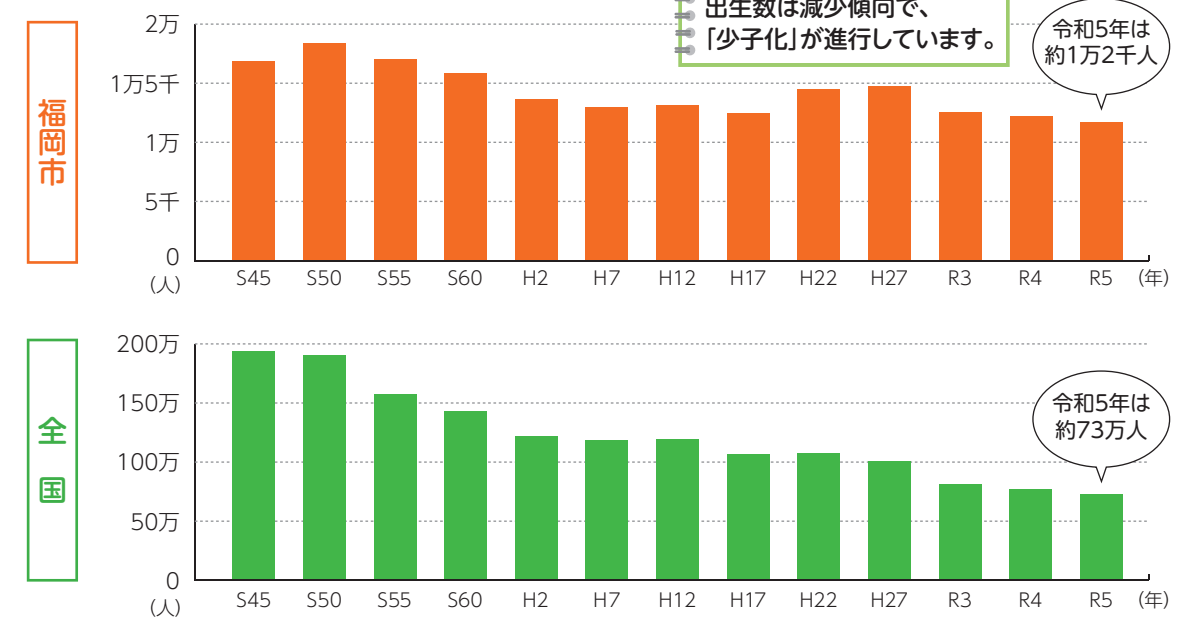
4. ヒアリング

不登校、ひきこもりなど様々な状況にある子ども・若者の支援を行っている人などに、課題や必要な取組みについて意見を聴きました。

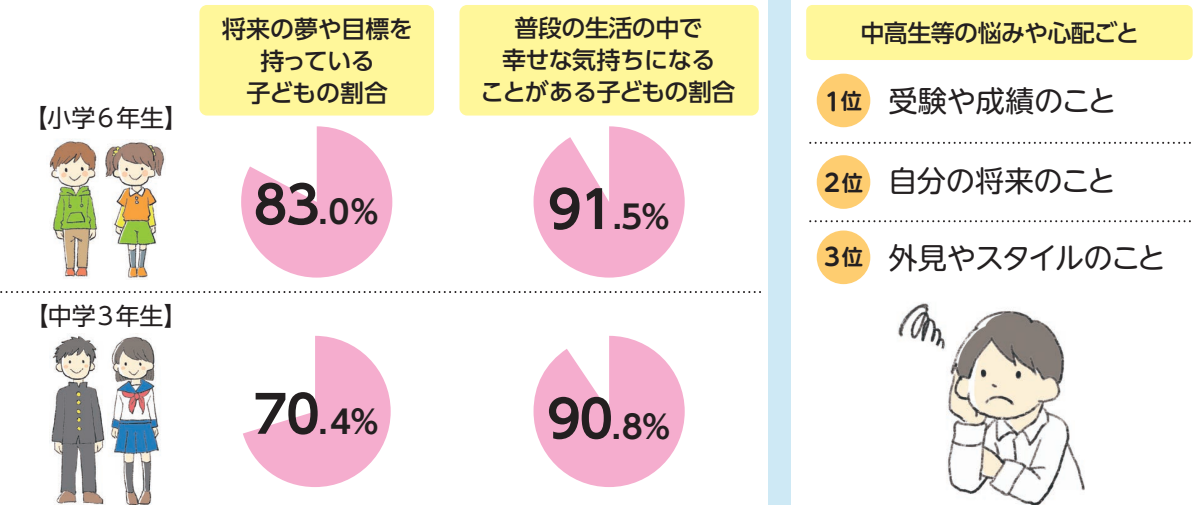


関連データ 福岡市の子どもや子育ての状況

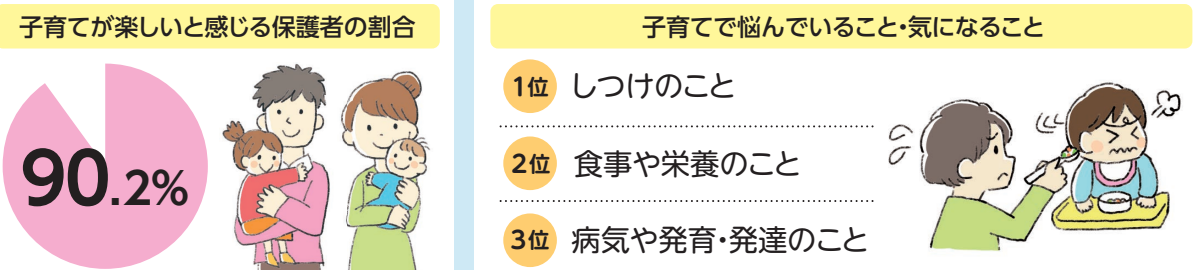
◆ 出生数の推移 (出典:厚生労働省「人口動態調査」)



◆ 子どもの気持ち (出典:文部科学省「令和6年度全国学力・学習状況調査」、福岡市「令和5年度青少年の意識と行動調査」)

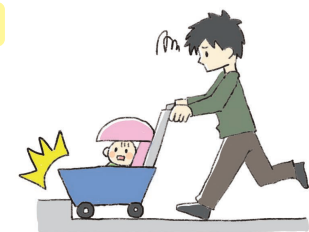


◆ 保護者の気持ち (出典:福岡市「令和5年度子ども・子育て支援に関するニーズ調査(乳幼児の保護者)」)



子どもと外出するときに困ること

- 1位 買い物の合間に遊ばせる場所が少ない
- 2位 子どもとの食事に配慮された場所が少ない
- 3位 ベビーカーなどで通りにくい場所がある



2 計画の基本的な考え方

基本理念

すべての子どもが夢を描けるまちをめざして

- 子ども一人ひとりの権利や多様性が尊重され、安心して過ごせる環境の中で、豊かな人間性や主体性、創造性、社会性を育み、将来に夢を描きながら、様々なことにチャレンジできるまちをめざします。
- 誰もが安心して子どもを生み育てられ、すべての子どもが自分らしく健やかに成長できるよう、社会全体で子どもと子育て家庭を支えるまちをめざします。

計画の推進にあたって大切にしたい考え方



3 基本目標と施策の方向性

- めざすまちを実現するために、**4つの目標**の下、**12の施策**を掲げて総合的に推進します。

妊娠前～妊娠期

乳幼児期

学童期

青年期

目標
1

【全年齢】

子ども・子育て家庭にやさしいまちづくり

施策

- 1 子どもの権利の尊重と意見表明支援
- 2 社会全体で子育てを応援する環境づくり

目標
2

【主に妊娠前～乳幼児期】

安心して生み育てられる環境づくり

施策

- 3 妊娠前からの支援と親子の心と体の健康づくり
- 4 幼児教育・保育の充実と多様なニーズへの対応
- 5 相談支援体制と情報提供の充実

目標
3

【主に学童期～青年期】

子ども・若者が自分らしく健やかに成長できる環境づくり

施策

- 6 子どもの様々な学び・体験機会の提供
- 7 子ども・若者が安心して過ごせる場づくり
- 8 悩みや問題を抱える子ども・若者の支援

目標
4

【全年齢】

一人ひとりの状況に応じてきめ細かに支援する環境づくり

施策

- 9 障がいのある子どもや発達が気になる子どもの支援
- 10 児童虐待防止対策と社会的養護体制の充実
- 11 ひとり親家庭など様々な環境で育つ子どもの支援
- 12 子どもの貧困対策の推進



子ども・子育て家庭にやさしいまちづくり

施策1 子どもの権利の尊重と意見表明支援

- 子ども一人ひとりが、自分らしく健やかに成長していくための基盤として、子どもの権利にかかる理解促進や普及・啓発に取り組みます。
- 子どもアドボカシーを推進し、様々な場面における子どもの意見表明を支援します。

関連情報 子どもアドボカシーってなに？

子どもの声を聴き、意見や考えを表明できるように支援することです。
市が2023(令和5)年度に実施したアンケート調査では、中高生等の2割超が、「自分の意見が大切にされていないように感じる」と回答しています。
子ども一人ひとりが自分らしく健やかに成長できるよう、子どもの権利を保障し、その意見を尊重することが大切です。



施策2 社会全体で子育てを応援する環境づくり

- 多様な価値観や考え方を尊重したうえで、若者が出産や子育てに明るい展望を持つことができるよう、社会全体で子ども・子育てを応援する気運の醸成に取り組みます。
- 仕事と子育ての両立に向けた環境づくりや、子育てを支援するまちづくり、子どもの安全を守る取り組みを推進します。

関連情報 赤ちゃんの駅

授乳やオムツ交換のスペースがある場所を「赤ちゃんの駅」として登録しています。
「赤ちゃんの駅」として登録された施設は、シンボルマークを掲示(のぼり、ステッカーなど)しています。



▲「赤ちゃんの駅」登録施設の一覧

目印はこのマーク!



▲赤ちゃんの駅(市役所1階)



▲授乳やオムツ交換のスペース(市役所1階)

安心して生み育てられる環境づくり

施策3 妊娠前からの支援と親子の心と体の健康づくり

- 妊娠・出産・子育てについて早い段階から考えるきっかけづくりとして、プレコンセプションケア^(※)の推進を図るとともに、子どもを望む人が希望を叶えられるよう、不妊や不育に関する支援に取り組みます。
- 心身のケア、育児サポートなど産前・産後の支援や親子の健康づくりなどに取り組みます。

(※) 妊娠の計画の有無に関わらず、早い段階から妊娠・出産の知識を持ち、自分の身体への健康意識を高めること。

関連情報 おむつと安心定期便

福岡市では、0～2歳の子育て家庭を見守りながら定期的におむつなどの育児用品を届ける「おむつと安心定期便」を実施しており、子育て家庭が孤立することなく、安心して子育てできる環境づくりを進めています。



施策4 幼児教育・保育の充実と多様なニーズへの対応

- 保護者のニーズに応じた支援を実施するため、教育・保育の提供や質の向上、多様な保育サービスの充実に取り組みます。
- 関係機関とも連携を図りながら、サービスを支える人材の確保に取り組みます。

施策5 相談支援体制と情報提供の充実

- 妊婦や保護者が抱える不安や悩みの早期発見・解消に向けて、身近な相談窓口や交流・学びの場の充実を図るとともに、地域で子どもを育む環境づくりを進めます。
- 支援を確実に届ける観点から、情報提供の充実に取り組みます。

関連情報 子育てに関する情報発信

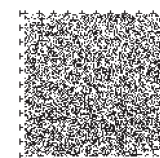
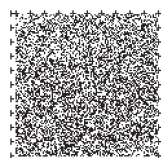
ホームページ「ふくおか子ども情報」では、福岡市の子育て情報を分かりやすくお知らせしています。また、市公式LINEでは、チャットボットで支援や手続きをご案内しているほか、妊娠週数やお子さんの月齢などに応じた情報をお届けしています。



▲Webサイト
「ふくおか子ども情報」



▲福岡市
LINE公式アカウント



子ども・若者が自分らしく健やかに成長できる環境づくり

施策6 子どもの様々な学び・体験機会の提供

- 子どもが将来に夢や希望を持ちながら、次代を担う人材として健やかに成長していけるよう、自己形成や社会的自立に向けた取組みを促進します。
- 様々な体験機会の充実を図るほか、健やかな心身の育成に取り組みます。

関連情報 アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC)

NPO法人 (APCC) が実施するBRIDGE Summer Camp (ブリッジサマーキャンプ) では、毎年、30以上の国と地域から11歳のこども大使を福岡に招き、ホームステイや学校訪問、パフォーマンスイベントなどを通じた交流が行われています。多くのボランティアや、企業、行政などが協力して、まち全体で子どもたちの国際交流を支援しています。



施策7 子ども・若者が安心して過ごせる場づくり

- 小学生が放課後などに安全に過ごせる居場所や、中高生が気軽に立ち寄り自由に過ごせる居場所の充実を図ります。
- 子どもたちが安全に遊び、活動できる場づくりを進めるとともに、非行防止・健全育成活動を推進します。

関連情報 中央児童会館あいくる

「遊び・体験・交流の場」として、子どもたちの遊びや活動の場、子育て支援事業、乳幼児の一時預かり、クラブ活動、季節のイベントや様々な催しものなどを通じて、子どもたちの健全な育成を行う施設です。



▲あいくるHPP



施策8 悩みや問題を抱える子ども・若者の支援

- 様々な悩みや問題を抱える子ども・若者を支援するため、総合的な支援・連携体制を強化します。
- いじめの防止や対応、不登校の児童生徒の支援、ひきこもり・無業の状態にある若者などの社会参加、自立・就労の支援に取り組みます。

関連情報 若者の相談窓口「ユースサポートhub」

若者やその家族が抱える様々な悩みや不安 (不登校、ひきこもり、就職不安、生活困窮、発達障がい、非行など) について相談をお受けしています。

▲Webサイト
「ユースサポートhub」

一人ひとりの状況に応じてきめ細かに支援する環境づくり

施策9 障がいのある子どもや発達が気になる子どもの支援

- 障がいの早期発見と療育・支援体制の充実に取り組みます。
- 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進や放課後等の支援の充実に取り組みます。また、発達障がい児に対する一貫した支援を実施します。
- インクルーシブな社会の実現に向け、障がいに対する理解促進や自立・社会参加に向けた支援に取り組みます。



施策10 児童虐待防止対策と社会的養護体制の充実

- 虐待の未然防止と早期発見・対応のため、アウトリーチ型支援や在宅支援などの充実を図るとともに、身近な相談支援体制の充実や関係機関の連携強化に取り組みます。
- 親子関係の再構築支援や里親養育の推進、里親家庭への包括的な支援の充実に取り組むほか、家庭への復帰が困難な子どもについて養子縁組の推進・支援を行います。
- 里親や児童養護施設等から措置解除となる子ども・若者の自立支援の充実を図ります。

施策11 ひとり親家庭など様々な環境で育つ子どもの支援

- 厳しい経済状況にあるひとり親家庭に対し、生活の支援や就業・自立に向けた支援を行います。
- ヤングケアラーの早期発見や切れ目のない支援に取り組みます。また、外国にルーツを持つ子どもや性的マイノリティの子どもなど、それぞれの状況やニーズに応じた支援に取り組みます。

関連情報 ひとり親家庭情報ポータルサイト「たよって」

ひとり親家庭やひとり親になる前の家庭を対象に、相談先や支援に関する情報を発信しています。

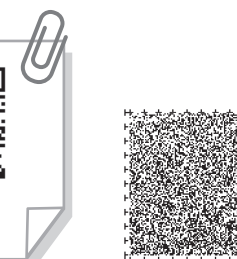
▲ポータルサイト
「たよって」

施策12 子どもの貧困対策の推進

- 教育の支援、生活の安定に資するための支援、保護者に対する就労の支援、経済的支援など、子どもの貧困対策を総合的に推進します。
- 支援が着実に届くよう、アウトリーチ型支援の充実等を図るとともに、地域や関係機関などとの連携強化に取り組みます。

関連情報 子どもの食と居場所づくり支援

福岡市では、子どもたちへの食事の提供に加え、遊びや学習支援などの居場所づくりを行う民間団体 (いわゆる子ども食堂) の取組みを支援しています。

▲子ども食堂
マップ一覧

4 ライフステージごとの主な支援 (令和7年4月時点)

妊娠前～赤ちゃんが生まれたら

◆ 子どもを望む方へのサポート ◆

プレコンセプションケアの推進

30歳女性を対象に **500円** でAMH検査^{*}ができるクーポンを交付
(※卵巣内の卵子数の目安を調べるための血液検査)

不育症の検査・治療費助成 **2分の1** (費用の上限5万円) を助成

◆ お母さんの健康をサポート ◆

妊婦健診

基本的な検査項目の
無料受診券 を交付

産婦健診

心身の健康状態をチェックできる
無料受診券 を交付

さまざまな面から、
不安や負担を軽減！



妊産婦への給付金

妊娠から出産・子育てまでの様々な
ご相談に応じながら、給付金を支給

給付金
10万円

産前・産後ヘルパー派遣

妊娠中から産後1年未満までの間、
ヘルパーが家事や育児をお手伝い

利用料
500円／回
(+ヘルパーの交通費)

産後ケア

助産師などの専門スタッフが、
心身のケアや、育児をサポート

訪問型の場合
500円／回

小学校に入るまで

◆ 子育てサポート ◆

おむつと安心定期便

子育て関連施設やサービスを利用することで、おむつなどの
育児用品を毎月お届け



3歳の誕生日まで

◆ 保育 ◆

第2子以降の保育料

所得などにかかわらず **無償化**



第3子優遇事業

(小学校入学前の3年間) 保育所の副食費等を **免除・助成**

いろいろな保育サービス

保育園などを週1回
利用したいとき

用事があるとき
リフレッシュしたいとき

仕事の都合で
看病できないとき

こども
誰でも通園

一時預かり

病児・病後児
デイケア

その他にも！

子ども医療費助成

● 3歳未満
自己負担なし

障がい福祉サービス 利用者負担の軽減

● 未就学児
自己負担なし

小学生以降

◆ 子育てサポート ◆

市立学校の給食費

無償

(令和7年度2学期から)

◆ 子どもの遊びや体験を応援 ◆

わいわい広場

校庭等を利用した放課後の小学生の遊び場

参加費 **無料**

(保険料は保護者負担)

市の施設

中学生以下 **無料**

福岡市動植物園
Fukuoka Zoo & Botanical Garden

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

福岡市博物館
Fukuoka City Museum

市営地下鉄

1日乗り放題

小学生100円パス
(土日・祝日、小学校の長期休業期間)

100円

家族なら！

ファミちかきっぷ
小学生以下の子どもがいる家族

1,000円



● 3歳以上高校生世代まで
 通院：**500円／月**まで (1医療機関あたり)

入院：**自己負担なし**

● 学齢児
 上限 **3,000円／月**まで



住替え費用助成

妊娠または子育て中の家庭を対象に、
子育てしやすい良好な住宅への住み替えを支援
※転居前後の住宅や家賃などに要件あり

対象経費
の
1/2

最大
25万円

基本額
15万円

+

多子世帯の場合
5万円

+

親世帯との同居又は近居の場合
5万円